
労働中毒

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

労働中毒

【Zコード】

N5103A

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

仕事が生きがいで、仕事しかない私にとつての最後の仕事は……

シグナルが脳内を駆け巡り、夜中何度も目が覚めた。

寝汗を吸つたパチャマとベットが不快感をいつそう強くした。

時計を探すが、電池がないためか、それとも壊れてしまったのか全く針が動かない。

赤い短針と、同じように赤い長針が丁度くの字の所で止まっている。朝なのか、それともまだ夜中なのか釈然としないままカーテンを開ける。

暗い。少なくとも日は昇っていない。

どんよりと体が重く、頭が痛い。仕事続きでまともに休息をとれなかつたのが原因だろうか。

メンソールを手探りで探し当てるが、生憎一本もない。

頭痛薬を水なしで口に放り込んでから、下着とシャツを新しいものに取り替えた。

仕事中心の日々は充実していく、ツケのよじてその疲れを休日に溜め込む。

前回企画した子供用化粧品の第一弾は順調に売れ、雑誌にも取り上げられた。

社内でも、みんなの見る目が変わった。

でも、何もかも上手く行くわけがなかった。

化粧品に含まれる添加物が問題になり皮肉にも、その化粧品を称賛していた雑誌が反旗を翻したのだ。

一度世論に浸透したイメージを変えるのは難しい。

日常生活を捨て、私には仕事しかなかった。

何もない土曜日が苦痛でしかない。

金網を搔くような不協和音が頭の中で巡る。

責任・非難・後悔

ちぐはぐな像が頭のなかで点滅する。たくさんの在庫の上。

回ってきたツケ。

責任という炎が理性を破壊する。

沈黙が部屋を埋めて、在庫の山を燃やす自分の横顔を思い出す。

私は仕事をやりとげた。

金曜の夜。私は最後の仕事をやりとげた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5103a/>

労働中毒

2010年12月18日14時10分発行